

# 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場会社名 菊水化学工業株式会社  
 コード番号 7953 URL <http://www.kikusui-chem.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 理事 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名

(氏名) 遠山 真人

(氏名) 稲葉 信彦

TEL 052-300-2222

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	14,138	15.5	587	40.3	606	37.7	258	48.2
23年3月期第3四半期	12,238	—	418	—	440	—	174	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 228百万円 (56.9%) 23年3月期第3四半期 145百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.71	—
23年3月期第3四半期	16.62	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,724	7,008	51.1
23年3月期	13,715	7,029	51.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 7,006百万円 23年3月期 7,028百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,300	3.9	510	0.6	530	0.9	216	3.0	20.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	10,716,954 株	23年3月期	10,716,954 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	526,395 株	23年3月期	231,995 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	10,453,519 株	23年3月期3Q	10,485,852 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) セグメント情報等 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年3月に発生した東日本大震災や福島第一原子力発電所事故などの影響による企業の生産活動停滞から、回復傾向にあったものの、ギリシャ危機を発端とした欧州金融危機や歴史的円高、株安の進行、さらにタイの洪水などの影響により、本格的に立ち直りかけた日本経済に対し厳しいダメージを与え、先行きに対する不透明感が続く状況となりました。また、震災の影響等による個人所得及び個人消費は依然として低迷しており、先行きに対する不透明感・不安感が負の連鎖を引き起こしている状況が続いています。

このような状況の下、当社グループは、「下地から仕上げまで」をグループ全体の販売戦略の要として新規顧客獲得に向けて積極的な営業活動に努め、安全、品質、環境を最優先に製造販売体制を整え、さらにグループ全体のコストの見直しを図り、製造原価の低減などに努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績として、売上高は141億38百万円と前年同四半期と比べて19億円の増収を計上することができました。

また、利益面につきましては、営業利益は5億87百万円と前年同四半期と比べて1億68百万円の増益、経常利益は6億6百万円と前年同四半期と比べて1億66百万円の増益、四半期純利益は2億58百万円と前年同四半期と比べて84百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## (材売・工事)

材売・工事においては、東日本大震災の被災地の一日も早い復興に貢献できる様、ワンストップキャンペーンの継続、リノベーションセミナーの開催など、住宅・建築関連業者の更なる活性化に向けて活動してまいりました。その結果、材売・工事の売上高は136億22百万円と前年同四半期と比べて19億73百万円の増収となり、セグメント利益(営業利益)は6億25百万円と前年同四半期と比べて2億36百万円の増益となりました。

## (セラミック)

セラミックにおいては、電機・電子部品業界向けの焼成治具は引き続き受注が堅調に推移しましたが、機構部品の受注は第2四半期と同じく低迷したままとなっています。売上における汎用品の比率が高かった結果、セラミックの売上高は、5億15百万円と前年同四半期と比べて73百万円の減収となり、セグメント損失(営業損失)は38百万円と前年同四半期と比べて67百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は137億24百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

これは主として受取手形及び売掛金が5億60百万円増加、現金及び預金が4億70百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は67億16百万円(前連結会計年度末比30百万円増)となりました。

これは主として支払手形及び買掛金が2億53百万円増加、未払法人税等が1億70百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は70億8百万円(前連結会計年度末比21百万円減)となりました。

これは主として利益剰余金が1億53百万円増加、自己株式が1億44百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、異なる可能性があります。

なお、連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に発表いたしました業績予想と変更ありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
税金費用の計算	当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)	
第1四半期連結会計期間の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	
(従業員持株会信託型ESOP)	
当社は、平成23年9月5日開催の取締役会において、当社グループの従業員に対する福利厚生政策強化の一環とするとともに、従業員の業績や株価に対する意識を高め、かつ中長期的な企業価値向上を図ることを目的として、当社従業員へのインセンティブ・プランとして「従業員持株会信託型ESOP」(以下「ESOP信託」)を導入することといたしました。	
当社が「菊水化学工業社員持株会」(以下「当社持株会」)に加入する従業員のうち一定の要件を充足する者を受益者とする信託を設定し、当該信託は今後5年間にわたり当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を、予め定める取得期間中に取得します。その後、当該信託は当社株式を毎月一定日に当社持株会に売却します。	
当社株式の取得及び処分については、当社と信託口は一体であるとする会計処理をしております。従って、信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに損益については四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。	
なお、当第3四半期連結会計期間末(平成23年12月31日)における自己株式数は、以下のとおりであります。	
自己株式数	526,395株
うち当社所有自己株式数	232,395株
うち信託口所有当社株式数	294,000株
(法人税率の変更等による影響)	
平成23年12月2日に、「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が公布されたことに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率を、従来の40.6%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異等については37.9%に、平成27年4月1日以後開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については35.5%に変更しております。	
この結果、繰延税金資産の純額が54,454千円減少し、当第3四半期連結累計期間に費用計上された法人税等の金額が49,844千円増加しております。	

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,761,102	2,290,252
受取手形及び売掛金	4,969,223	5,529,436
商品及び製品	437,264	434,135
仕掛品	160,439	187,223
原材料及び貯蔵品	256,793	263,935
繰延税金資産	157,920	147,418
その他	212,659	232,626
貸倒引当金	△14,286	△15,479
流動資産合計	8,941,117	9,069,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	763,392	754,551
機械装置及び運搬具(純額)	171,417	156,101
土地	1,497,931	1,497,931
リース資産(純額)	246,098	214,452
その他(純額)	54,856	63,657
有形固定資産合計	2,733,695	2,686,694
無形固定資産		
のれん	45,711	38,132
その他	54,926	46,934
無形固定資産合計	100,638	85,067
投資その他の資産		
投資有価証券	863,473	831,882
繰延税金資産	291,071	263,464
長期預金	610,000	610,000
その他	175,836	184,471
貸倒引当金	△10	△6,356
投資その他の資産合計	1,940,371	1,883,461
固定資産合計	4,774,705	4,655,223
資産合計	13,715,822	13,724,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,571,883	2,825,766
短期借入金	1,400,000	1,450,000
1年内返済予定の長期借入金	21,664	115,965
1年内償還予定の社債	228,800	68,800
リース債務	31,181	38,078
未払法人税等	308,498	137,763
その他	909,867	779,911
流動負債合計	5,471,894	5,416,284
固定負債		
社債	171,200	302,400
長期借入金	192,145	230,436
退職給付引当金	494,637	466,699
役員退職慰労引当金	236,130	171,934
その他	120,105	128,812
固定負債合計	1,214,217	1,300,281
負債合計	6,686,111	6,716,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,394,100	1,394,100
資本剰余金	1,092,160	1,092,160
利益剰余金	4,674,340	4,827,851
自己株式	△117,132	△261,464
株主資本合計	7,043,467	7,052,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△14,775	△45,851
その他の包括利益累計額合計	△14,775	△45,851
少数株主持分	1,018	1,409
純資産合計	7,029,710	7,008,205
負債純資産合計	13,715,822	13,724,771

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,238,082	14,138,544
売上原価	8,884,671	10,384,861
売上総利益	3,353,410	3,753,682
販売費及び一般管理費	2,934,864	3,166,346
営業利益	418,545	587,336
営業外収益		
受取利息	4,757	4,493
受取配当金	13,096	14,336
仕入割引	1,407	3,905
受取ロイヤリティー	5,342	8,216
受取賃貸料	5,021	7,821
その他	23,974	14,898
営業外収益合計	53,601	53,671
営業外費用		
支払利息	14,336	13,513
売上割引	6,312	7,108
社債発行費	3,617	5,217
減価償却費	5,475	6,293
その他	2,121	2,479
営業外費用合計	31,863	34,611
経常利益	440,283	606,396
特別利益		
投資有価証券売却益	1,660	23
固定資産売却益	—	3,135
貸倒引当金戻入額	89	—
特別利益合計	1,750	3,159
特別損失		
投資有価証券評価損	49,994	13,640
固定資産除却損	617	1,719
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,528	—
会員権評価損	—	1,582
特別損失合計	72,140	16,941
税金等調整前四半期純利益	369,892	592,613
法人税等	195,535	333,598
少数株主損益調整前四半期純利益	174,356	259,014
少数株主利益	—	654
四半期純利益	174,356	258,359

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	174,356	259,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,948	△30,901
その他の包括利益合計	△28,948	△30,901
四半期包括利益	145,408	228,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	145,408	227,283
少数株主に係る四半期包括利益	—	829

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	材売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,649,035	589,046	12,238,082	12,238,082
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	11,649,035	589,046	12,238,082	12,238,082
セグメント利益	389,747	28,798	418,545	418,545

(注) 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	材売・工事	セラミック	計	
売上高				
外部顧客への売上高	13,622,702	515,841	14,138,544	14,138,544
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	13,622,702	515,841	14,138,544	14,138,544
セグメント利益又は損失(△)	625,789	△38,453	587,336	587,336

(注) 報告セグメントの利益又は損失(△)の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益の金額は一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。